

2022 年度 天草更生園 事業報告書

障がい者支援施設 天草更生園

【生活介護・施設入所支援全般】

2022 年度（令和 4 年度）生活介護事業・施設入所支援事業の利用者の動向として、生活介護事業（通所利用者 1 名含む）においては新規契約はなく、退所者 2 名（死亡 2 名）のみの変動があり、2022 年度（令和 4 年度）末現在で 52 名の方が利用されています。施設入所支援事業においても生活介護と同様に、退所者 2 名（死亡 2 名）のみの変動があり、2022 年度（令和 4 年度）末現在で、51 名の方が入所されています。

障害支援区分（平均）については、生活介護（日中）及び入所支援（夜間）ともに 4.4 となっています。尚、平均年齢は男性が 62.7 歳、女性が 56.8 歳の合計平均年齢 60.5 歳です。

コロナウイルス感染症関係では、重症化リスクの高い利用者の方が多く入所されていることもあり、対策会議（施設全体及び各部署ごとの）等を随時行い、利用者・職員に対しての施設内外での感染防止に向けた対策（支援）を実施して参りました。しかし 2022 年（令和 4 年）の 11 月 15 日に入所利用者 1 名が新型コロナウイルスに罹患され、その後 2023 年（令和 5 年）1 月 19 日に厨房職員 1 名が罹患、2 月 7 日には生活介護通所利用者 1 名が罹患されました。その後 2 月 10 日～27 日には入所利用者 12 名が罹患し、保健所よりクラスターと認定されました。利用者の方は基礎疾患がある方ほとんどで、その中で 3 名が酸素飽和濃度の低下等により入院（天草慈恵病院 1 名・牛深市民病院 2 名）となりました。

施設内での感染者の対応を行うにあたって、天草地域医療センターの感染管理認定看護師に急遽来てもらい、ゾーニングやガウンテクニック等のアドバイスを頂き、感染者・濃厚接触者と、それ以外の利用者が接触しないよう生活区域を感染区域（レッドゾーン）と清潔区域（グリーンゾーン）に区分けし、また対応する職員もレッドゾーン対応職員とグリーンゾーン対応職員を完全に分けて、利用者支援を行いました。また保健所の指導により就労事業部の職員との行き来を遮断し、1 階と 2 階の利用者の行き来も中止しました。

食事については、毎食全員部屋食での対応とし、入浴についても回数を減らしたり清拭で対応致しました。

また軍手・ウエスの生産活動も中止し利用者同士が接触する機会をなるべく減らし、1日3回の検温（鼻水や咳の状態の把握）及び定期的に利用者・職員の抗原検査を行い、感染者及び感染の疑いがある者を早期に発見し迅速に個室対応等を実施致しました。

またアルコールや次亜塩素による手摺などの消毒を1日2回以上実施するなどの対策を行い、これらの対策を実施した結果2週間で収束することが出来ましたが、対応した職員（生活支援員）3名が新型コロナに感染致しました。

新型コロナウイルス以外の対応として、生活面では利用者間の相談・苦情の訴えにおいては、傾聴に心がけながら状況を把握し相談支援、苦情解決支援に努めました。個別支援においては、本人の意向、適正、個々の障がいの特性その他の事情を踏まえ、関係職員及び関係機関との連絡・調整を行い、個別支援計画に基づいたサービスの提供を行いました。

行事関係では、新型コロナ対策を行いながら夏まつりを2022年（令和4年）7月29日、ミニふれあい祭を2022年（令和4年）11月5日、クリスマス会&忘年会を2022年（令和4年）12月24日に実施致しました。

また、「みんなでレクリエーション」をタイトルとしたグループレクリエーションを毎月実施予定としていましたが、新型コロナ感染症（クラスター）等の影響もあり毎月実施出来ず、2022年（令和4年）は8回実施致しました。内容としては、歌しりとり、風船バレー、玉入れゲーム等を行い、2022年度（令和4年度）の参加人員は例年に比べ半分以下の延べ75名でした。参加された利用者皆さんからは、日頃見る事のない笑顔や笑い声を聞くことが出来ました。又、ふれあい公園への散歩については、利用者の方が季節を通じて折々の花を見ることで、心身のリフレッシュを図ることができました。

動物セラピーの目的で施設の中庭で飼っている、うさぎ（6羽）については、目で見たり直接触れることで、利用者・職員の心身のリフレッシュにつながり、心の癒しになっています。

また新型コロナ感染症等の発生や予測不可能な自然災害等に対し、事業継続が出来るよう「BCP（事業継続計画）」の会議（係長以上出席）を開催しており、作成に向け協議・検討しています。完成後も感染症等の状況に応じ、随時見直しを行いながら取り組んでまいります。

職員の人材不足に伴う業務の効率化等の改善策として取り組んでいる、ICT事業（情報通信技術・通信技術を活用したコミュニケーション等）については、展示会に出向いたり、複数の専門業者に直接施設に来園してもらい、説明してもらったり実際に携帯電話等の機器を使用し職員が体験（活用）する等導入に向けて、現在情報収集を行っています。

【就労継続支援A型事業全般】

2022年度の就労継続支援A型利用者の動向として、1名の利用者の方が一般就労を希望され利用終了となり、2022年度末現在で就労継続支援A型事業利用者の現員は4名です。新規利用はありませんでした。現在利用されている従業者皆さん、今後も継続して天草更生園利用を希望されておられますが、若い従業者の方には将来的に一般就労を目指していただけるよう支援を行いました。日々の作業においては、お客様から喜んでいただける製品の提供について、従業者皆に説明を続けて行い、職員へ製品に対しての質問や相談の場面が増え意識も高まっています。又、作業面だけではなく、他者とのコミュニケーションの取り方や言葉遣いについても助言を行いました。

2022年度7月に苓北町立苓北中学校より「職場講話学習」の依頼があり、地域の方々との交流の一環として参加いたしました。（参加企業：天草更生園、志岐保育園、九州電力、苓北町役場）この職場講話では、天草更生園の事業内容等について、当法人で働かれている職員が全体で105名中58名が町内在住者であることなど、法人・天草更生園の情報を多く発信することができました。

クリーニング事業ホテルリネンでは、ここ数年新型コロナウイルス感染症の影響を受けた状況であり、売り上げが減収となっていました。第2クリーニング工場ホテルリネンで仕上げ作業を行っている入院セットの新規契約と社会経済活動の再開により前年に比べ徐々にではありますが回復しています。このような状況の中でも、工場で使用するボイラーの稼働時間を制限するなど、時間内に効率的に作業を行うことで燃料費を抑え、出来る限り支出を減らすよう経費削減に取り組み、価格高騰が見られる世界情勢ではありますが、状況を見極めながら安定できる事業推進に努めました。新規クリーニング契約では、病院における病衣・タオル類の入院セットの需要が高まっている中、寝具業者と提携し、取引先である上天草総合病院様、松本内科眼科様へ営業を展開、協議を重ね、双方が納得いく形で2件のお客様へ成約することができ、昨年6月から入院セットを開始しています。

新型コロナウイルス感染対策については、2022年度もお客様とお取引をする中で、事業所に新型コロナウイルスを持ち込まないことが、利用者・職員、お客様の安全にもつながるため、感染防止対策を徹底しました。リネンの取扱

い方法についてもご理解とご協力をいただき、水溶性のリネンバッグを使用するなどして、安全が確保されるまでお客様のもとで保管していただき、感染リスクが無くなる4日後に回収することで利用者・職員の安全確保に繋げました。

新型コロナウイルス感染者発生時の対応については、就労継続支援A型事業従業者からの感染の発生はありませんでしたが、就労継続支援B型事業通所利用者から新型コロナウイルス感染者が確認された際は、事業所の判断で濃厚接触者に該当すると思われる従業者については、約5日間グループホームの自室や自宅で待機してもらう等の対応を行い、待機終了日には抗原検査を実施、陰性を確認して業務に復帰してもらいました。又、濃厚接触者に該当されない従業者についても、始業前に抗原検査を実施して陰性を確認し業務に従事してもらうなど対応を行いました。

賃金については、利用者、職員全体で努力して取り組んだ結果、平均賃金月額 128,540 円(前年度 126,151 円)を支給いたしました。
(2021年度全国平均賃金月額 81,645 円)

【就労継続支援B型事業全般】

2022年度就労継続支援B型事業利用者の動向として、新規契約者2名(支援学校卒業生1名、苓龍苑より1名)、契約終了者2名(施設移行1名、一般就労移行1名)の計4名の変動があり、2022年度末現在で就労継続支援B型事業利用者の現員は34名(内訳はクリーニング事業27名、印刷事業3名、珈琲事業4名)の利用がありました。利用者においては、就労継続支援B型事業利用者の就労継続支援A型事業への移行はありませんでしたが、今後も更に就労継続支援A型事業所と連携し、作業の習熟度が高く、就労継続支援A型事業へ移行できる利用者の育成に努めていきます。

2022年度7月に苓北町立苓北中学校より「職場講話学習」の依頼があり、地域の方々との交流の一環として参加いたしました。(参加企業：天草更生園、志岐保育園、九州電力、苓北町役場)この職場講話では、天草更生園の事業内容等について、当法人で働かれている職員が全体で105名中58名が町内在住者であることなど、法人・天草更生園の情報を多く発信することができました。

クリーニング事業病院寝具では、新型コロナウイルス感染症による病院寝具類への影響はほとんど無く、売り上げについては例年に近い状況でありましたが、ホテルリネン同様、工場で使用するボイラーの稼働時間を制限するなど、時間内に効率的に作業を行うことで燃料費を抑え、出来る限り支出を減らすよう経費削減に努めました。又、本体施設での新型コロナウイルスクラスターが発生した際は、通所・グループホーム利用者、職員全員で連携して工場を稼働させ、取引先への納品が滞ることのないよう対応いたしました。設備関係においては、機械類（洗濯機・乾燥機・ロールアイロナー等）の職員、業者によるメンテナンスを行い不良箇所の早期発見に努め修理等の対応を行いました。

印刷事業では、令和4年度も優先調達推進法を活用し、新たに天草工業高校から封筒印刷の受注をする事ができました。苓北町役場、苓北支援学校からは継続して封筒印刷の受注をしています。原油高騰のため印刷資材（用紙や印刷機用消耗品）の値上げもあり、印刷製品の値上げも実施しましたが、お客様からの苦情もお受けすることはなく、ご理解いただけたと思います。又、印刷機器の老朽化のため、印刷工程の工夫を行い臨機応変に対応してお客様のご要望に応えられるよう努めました。

珈琲事業部では、コロナ禍のなか、出来る限りの外部出店（天草市役所販売会、健康のつどい、あまくさ福祉まつり、こころす販売会）へ参加しました。今年度も地元のお菓子工房とギフトセットを考案し販売をいたしました。また、珈琲工房麟泉の販売促進ツールとして PR 動画を製作いたしました。各種販売会等で使用し珈琲工房麟泉の売上・知名度アップに活用していきます。

新型コロナウイルス感染対策については、2022年度もお客様とお取引をする中で、事業所に新型コロナウイルスを持ち込まないことが、利用者・職員、お客様の安全にもつながるため、感染対策を徹底しました。寝具の取扱い方法についてもご理解とご協力をいただき、水溶性のリネンバッグを使用するなどして、安全が確保されるまでお客様のもとで保管していただき、感染リスクが無くなる4日後に回収することで利用者・職員の安全確保に繋がりました。

新型コロナウイルス感染者発生時の対応については、感染時期は違いましたが、入院時の院内感染1名、家庭内感染4名、感染経路不明1名、就労継続支援B型事業クリーニング利用者計6名(通所男性2名女性1名、グループホーム男性2名女性1名)の方が感染されました。感染者が確認された際は、工場内の消毒はもちろん、感染された利用者が触れられた全製品の洗濯を再度行い、

工場内で作業される就労継続支援B型事業、就労継続支援A型事業、生活介護事業入所・通所全ての利用者の方に抗原検査を実施して対応し、感染拡大を防ぐことが出来ました。感染された利用者については、保健所の指導の下、入院やグループホーム、ご自宅にてそれぞれ7日間の隔離期間を経て作業に復帰されました。又、事業所の判断で濃厚接触者に該当すると思われる利用者については、約5日間グループホームの自室や自宅で待機してもらう等の対応を行い、待機終了日には抗原検査を実施、陰性を確認して作業に復帰してもらいました。又、濃厚接触者に該当されない利用者についても、始業前に抗原検査を実施して陰性を確認し作業に従事してもらうなど対応を行いました。

B型事業の工賃につきましては、コロナ禍の影響を受けた状況ではありませんでしたが、平均月額 54,282 円(前年度 55,549 円)の工賃を支給いたしました。又、新型コロナウイルス感染拡大防止にて作業を休んでいただいた方にも工賃を支給いたしました。

(2021 年度全国平均工賃月額 16,507 円)

共同生活援助事業（グループホーム天草更生園）

- (1) 2022年度末現在のグループホームの入退居状況は、入居1名（苓龍苑より移行）、退居1名（天草更生園入所へ移行）計2名の変動がありました。2023年3月31日現在の入居者数は、定員20名中、17名が入居されており、休日、夜間はグループホームで過ごされ、日中は天草更生園の就労事業を利用されています。
（就労継続支援A型事業利用者・・・3名）
（就労継続支援B型事業利用者・・・14名）
- (2) 2022年度もグループホーム入居体験の受入れを行い、苓龍苑より1名の方、天草支援学校より1名の方が入居を体験され苓龍苑の方は6月1日から利用開始となり、天草支援学校の方は2023年度4月1日付けで利用開始となります。
- (3) グループホームでは、世話人6名により家庭的な雰囲気の中で、入居者と一緒に料理をしたり、季節に応じたメニューを提供しました。
- (4) 非常災害に備え、業者による定期的な防災設備の点検、整備や施設での避難訓練等を実施しました。
- (5) 健康面においては定期の健康診断や感染症予防のための対策。予防接種を実施しました。
- (6) 新型コロナウイルス感染症予防を徹底するため、検温、手洗い、手指消

毒、マスク着用実施しました。また天草市・苓北町管内での感染状況を見極めながら、外出、外泊自粛、面会禁止等の対応も行いました。

- (7) 2022年度は特に新型コロナウイルス感染拡大が天草市・苓北町管内において猛威を振るう状況の中、2022年8月にグループホームきらめき利用者1名の方が新型コロナウイルス感染症を発症しました。感染原因は数日前まで入院していた天草地域医療センターにて、同じ病棟で感染者が発生していた事による院内感染が原因でありました。この方は発症した当日夜に天草地域医療センターに入院となりました。他のきらめき利用者7名の方には感染対策として、7日間自室静養して頂き健康観察を実施しました。その後は新規感染者が発生することなく収束ができております。

更に2023年1月にグループホーム昴利用者1名の方が新型コロナウイルス感染症を発症しました。今回感染された方は天草慈恵病院を受診されましたが、入院措置とならなかったためグループホーム昴内に感染区域を設けて隔離部屋で静養をされました。他の6名の同居利用者の方は日中の作業を休んでいただき自室で静養、健康観察を行いました。2名の利用者の方はご家族の受け入れの同意のもと、自宅での健康観察をお願いしました。その後7日間の感染対策を行った結果、新規感染者が発生することなく収束ができております。